



## サポーターズカンファレンス議事録

日時：2020年2月22日（日）10:00 - 12:00

場所：オンリーワンダースタジアム 2階（盛岡市中ノ橋通1丁目5-21）

出席：㈱いわてアスリートクラブ 代表取締役社長 宮野 聡  
強化部長 田中 舜

内容：スタジアム検討の進捗  
昨シーズンの振り返り  
今シーズンの展望  
事前質問に対する回答  
会場での意見交換

### 【開会のご挨拶】

（宮野）

本日はお忙しいところ沢山の方々にお集まりいただき、誠にありがとうございます。冒頭に、昨日報道にもございました「スタジアム検討の進捗」、および「昨シーズンの振り返り」「今シーズンの展望」をお話しさせていただきます。そして、事前質問にて100以上のご質問を頂きました、誠にありがとうございます。質問に関して、同じような内容をなるべく一括りにし、時間内にお応えできればと思います。最後に、会場での質疑応答、意見交換の時間を設けさせて頂ければと思います。

（田中）

おはようございます。昨年に引き続き、サポーターズカンファレンスに出席させていただきます、強化の田中です、本日はよろしく願いいたします。

### 【スタジアム検討の進捗】

（宮野）

それでは内容に入らせて頂きます。初めに、昨日ニュースで流れた映像がございましたので、テレビ岩手さんのニュース動画を皆さんと一緒に観たいと思います。

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20200221-00000431-tvi-103>

グルージャ昇格に向け盛岡市が照明整備へ 岩手  
2/21(金) 19:20配信 **[TV]** テレビ岩手



テレビ岩手ニュース

J2昇格へ前道だ。岩手・盛岡市はサッカーJ3リーグ「いわてグルージャ盛岡」のホームスタジアム、「いわぎんスタジアム」に照明設備を整備することになり、来月、補正予算を計上する方針を明らかにした。J3リーグ「いわてグルージャ盛岡」のホームスタジアムである「いわぎんスタジアム」は現在照明設備がなく、J3ライセンス保有のためには来年度6月までの整備が義務付けられている。盛岡市は21日、市議会の全員協議会で整備にかかる補正予算を3月計上する方針を明らかにした。事業費は7億円で半分は国の補助制度を活用、さらに民間資金や県の補助金も充て、来年度2月の利用開始を目指す。整備されるとJ2ライセンス取得に必

昨日のニュースでこちらの内容が出ておりましたが、事業費 7 億円で照明をつけるという事業になります。この照明を、前倒しで 2020 年度中に付けて欲しいという話をしておりました。内訳として出ております予算の内、国の助成金に関しては今年 3 月に本決まりの為、まだ確定段階ではないのですが、こちらの予算で 3.5 億円、企業版ふるさと納税を活用した民間資金の活用で 2 億円、その他を県・市の負担で賄う立て付けになります。自治体の負担の区分に関しては、わたしも昨日のニュースや市議会・県議会の状況で初めて知りました。

実際のところ、署名活動等でお力をお借りしていた当初は、2023 シーズン開幕までの照明具備を目標に、岩手県サッカー協会さんともタッグを組んで、自治体とも協議をしていました。当時は、クラブの状態、また、街全体が J2 を受け入れられるような状態ではないと感じており、メ切でもある 2023 シーズン開幕を目標に掲げていました。他方、昨秋からグルージャのオーナーが NOVA ホールディングスに代わり、2020 シーズンでの J2 昇格を目標に掲げるようになったことから、当初よりも前倒しで検討を進めることになりました。そうしたことから、盛岡市の担当部署様にもかなりご負担をかけながら、ようやく、このニュースの段階まで辿り着いたという状況でございます。

それでは、スライドに戻ってもう少しスタジアムの説明をさせていただきます。

ご参考: J1・J2・J3・Jリーグ百年構想クラブの主な資格要件

順位(動員数)	施設		アカデミー		組織	
	スタジアム	トレーニング施設	アカデミー	組織		
	収容人数	照明	グラウンド	クラブハウス	メディカル	
J1 下位3クラブ ↓ J2 上位2クラブ+ プレーオフ優勝 J2 下位2クラブ ↓ J3 上位2クラブ (3,000人~)	15,000人~ (椅子席)	要	所有または 専用での通年利用		U-18 U-15 U-12 U-10 全カテゴリー	代表取締役 財務担当 運営担当 セキュリティ担当 広報担当 事業担当 コンプライアス 医師 理学療法士 etc
	10,000人~ (椅子席)	要				
	5,000人~ (椅子席& 芝生)	要 2023年度	専用での通年利用を奨励		U-12/15/18のうち、いずれか一つ以上	
JFL 地域リーグ 都道府県リーグ	JFL4位以内+ 百年構想クラブ のうち上位2クラブ (2,000人~)	J3基準を充足、またはJ3基準を満たす為の改修計画が策定されていること	天候、日時を問わず、トップチームが練習できる場所を確保できる状態にあること		U-15/18のいずれかで1年以上の活動実績があること	常勤役員 1名以上 常勤社員 4名以上

ご存知の方も多くいらっしゃるかとは思いますが、こちらが J1 / J2 / J3 ライセンスの主な要件になります。ただ、これ以外にも J2 ライセンスを例外規定で取得する為には、室内放送室・記録室の具備や、財務基準のクリア等も必要になってきます。室内放送室等に関しては、県内の業者さんと現地調査をすでに行っており、現在、記録スペース・関係者席で活用しているエリアの椅子を取って部屋を作る案、もしくは、DAZNで渡邊アナが実況しているスペースに小部屋を作り、カメラも置けるスペースも確保する案が挙がっています。前者のほうが作り易そうなのですが、貴賓室として使われている実況スペースからの視界が悪くなる懸

念があることから、着座を高くする等の工夫が必要であり、後者のほうが現実的な状況です。いずれにしても、こちらに関しても検討が進んでおり、他にも幾つかクリアすべき課題はありますが、照明程の高いハードルではない為、なんとか整えたいと思います。なお、照明はできますが、前倒しになってしまった関係上、2023年に野球場と並行して整備される予定の駐車場の照明問題があります。何か起きてからでは遅いので、スタジアムに足を運ぶまでの導線も、来シーズン、ナイターゲームをやるとなれば、クリアしなければならない問題となります。

トレーニング場に関しては、つなぎ観光協会様と共同でつなぎの多目的運動場の指定管理を頂いており、期限は決まっておりますが、今後も指定管理を受けて通年利用が可能な状態を維持していけば、J2の基準はクリアしやすい状況になります。

アカデミーに関しては、清水敦貴選手が高校2年生の時にU-18を発足し、全カテゴリーのアカデミーチームが在ります。育成はJクラブの骨子でもあるので、維持・発展に向けて引き続き取り組んで参ります。

フロント組織については、J2/J1に上がるにつれて、各オフィサーの要件は高まってきますが、ここは是非でも具備すべき観点でもあるので、要件をしっかりと把握し、網羅できるように取り組んで参ります。

## 2-8. 例外規定の内容①

2019/9/27



「競技の公平性」を向上させ、「基準充足」のためだけでなく最適な整備計画を検討でき、「理想のスタジアム」の整備が促進される2つの例外規定を制定した。

### 1. 競技の公平性



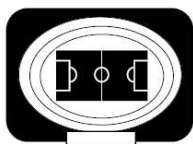
以下の要件を満たしていれば、例外を認め上位のライセンスを取得可能とする

#### 【例外規定1】

以下の要件を満たす**工事が着工**されていれば、基準を充足しているものと判断する

- ✓ 申請から4年目のシーズンの開幕までに完成するスケジュールであること
- ✓ 工事期間中も試合開催に支障をきたさないと理事会が認めること

### 2. 基準充足に向けた投資

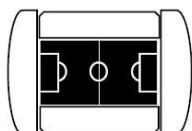


#### 【例外規定2】

「理想のスタジアム」の4要件を満たすスタジアムの整備であれば、完成まで**5年間の猶予期間**を設け、基準を充足しているものと判断する

- ✓ 昇格後**3年以内**に、場所・予算・整備内容を備えた**具体的なスタジアム整備計画を提出**すること
- ✓ 5年以内に工事が着工されていれば、例外規定1との組み合わせも可能

### 3. 理想のスタジアム



【注】上記いずれの例外規定であっても、**猶予期間を設定できない照明・諸室については、従前どおりシーズン開幕までに整備する必要があります**（猶予が可能な項目は、「入場可能数」および「大型映像装置」のみ）

※上記例外規定設置に伴い、**トレーニング施設基準**に関しても、内容は変更せずに**猶予期間3年**を設けた



次に、今回活用予定のJリーグのスタジアム基準をご説明いたします。1万人スタジアムを作らずとも、例外規定によってJ2昇格が可能になる仕組みが2018年の年末に出来ました。こちらのルールを基に、J2ライセンスの取得をクラブとして目指しています。

まず、例外規定1は、昇格した時にリーグが求める基準のスタジアムの工事を着工していれば、その時点から起算して4シーズン目までに完成するスケジュールであれば、J2昇格を果たせるルールになります。次に、例外規定2は、今回、クラブとしても活用しようとしているルールになります。まず4要件を満たす、理想的なスタジアムであることが必要です。4要件とは、アクセス、フットボールスタジアムであること、全面Wi-Fiが飛んでいること、ビジネスラウンジがあることです。こちらを満たすことを、昇格のタイミングで、クラブとして宣言する事が必要になります。

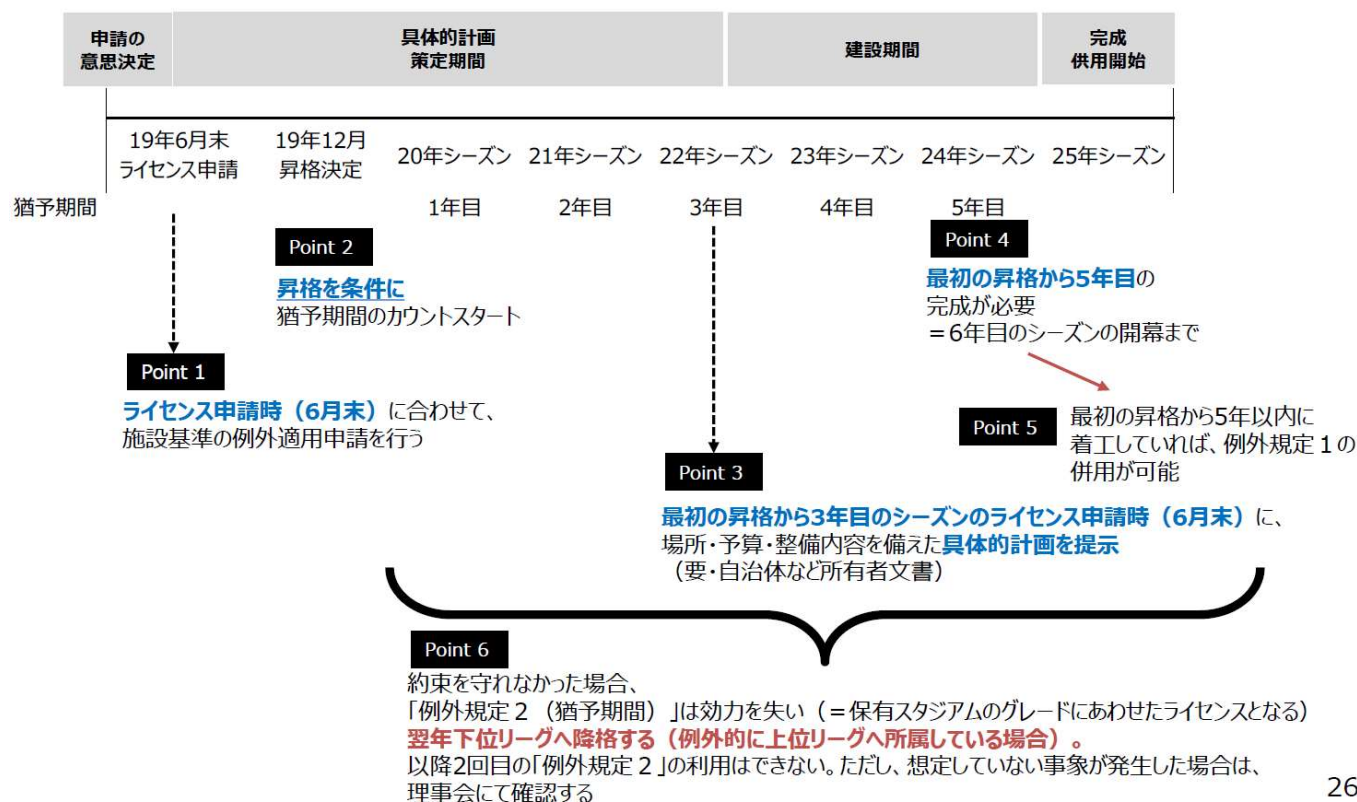
そして、最初の昇格後、3年以内に具体的な計画書の提出が求められます。もし仮に、今シーズンにJ2昇格を満たす2位以内を達成した場合、2023年6月のライセンス審査のタイミングで、計画書を提出しなければなりません。そして、5年以内に工事が着工していれば、例外規定1との併用が可能になります。つまり、5年+3年で、最大8年の猶予期間を以て、J2仕様のスタジアムを具備することで、リーグのスタジアム基準を担保することができます。

## 2-8. 例外規定の内容③

2019/9/27



鹿児島・琉球が対象となる例外規定2の猶予期間の考え方は以下のとおり。



この規定を活用した例として、鹿児島さんと琉球さんが挙げられます。この規定のポイントとして、「最初の昇格」から起算されるので、仮に翌年また J3 に降格しても、計画書を提出する 3 年計画のカウントは切られており、必ず出さなければいけません。その後の着工、完工を含め、約束を守れなかった場合、この猶予規定は終了となります。つまり、例外規定の適用は一回ポッキリということです。

この基準を今回使うという事で、オーナーは J2 昇格を宣言し、監督・選手を集め、本気で優勝を目指している、ということです。

では、その後の計画ですが、昨日、議員さんから質問が出たようですが、この点に関しては、オーナーからも「まずは昇格して、機運を高める中で、本格的な検討を進めていきたい」と述べております。計画が机上の空論に終わることなく、とはいえ、勢いはあるが計画が付いてこないということにもならないように、急ピッチではありますが、両輪を上手く回し、将来的なスタジアム構想も実現に近づけられればと思います。

### 東京都少年サッカー、夏の公式戦禁止 異例の熱中症対策

有料会員限定記事

登録済 2019年5月19日 5時00分

シェア ツイート ブックマーク メール 印刷



[PR]

夏の猛暑に備え、東京都少年サッカー連盟が今年から7、8月の公式戦を全面的に禁止する。昨年までは小学5、6年生の全国大会までつながる約600試合が組まれていた。同連盟の吉実雄二委員長は「試合をこなすことよりも子供の命、安全が大切だ」と話し、区や市の大会も7、8月の開催を避けるように要請している。

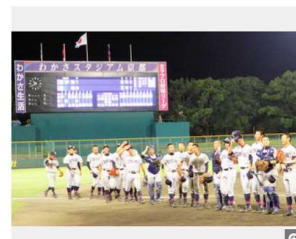
熱中症対策で一律に公式戦の開催を禁じるのは、サッカー界に限らず異例の取り組み。日本サッカー協会ではかねて選手の年代を問わず、体調面を考慮して夏の公式戦の在り方が議論されており、今回の都少年連盟の決定は先駆的な事例となる。大学サッカー関係者も関心を示しているという。

都少年連盟には小学1～6生の約3万6千人、803チームが登録。都道府県別で全国最大規模となる。昨年は各チームに熱中症への注意を促した上で7月に公式戦を実施したが、同月中旬に小学6年生が熱中症を起こし、管理責任を問う苦情が寄せられた。その後、「注意喚起をしても事故が起きては意味がない」（吉実委員長）との問題意識から、8月末までのほぼ全試合にあたる500試合以上を9月以降に延期。気温などの条件を満たす場合だけ特別に許可した。

### 昨夏はナイターも、開始前倒しなど熱中症対策/京都

[2019年6月22日20時36分]

ツイート いいね! シェア B!



熱中症対策でナイター試合となった準々決勝の鳥羽-立命館宇治。終了時には2時半を過ぎていた（2018年7月24日撮影）

京都大会は今年も熱中症対策に万全を期す。昨夏は準々決勝の3試合目以降を午後4時開始にずらす異例の対応。今年は、準々決勝以外は各会場すべて2試合までの開催とし、気温を見て開始を前倒しする。

府高野連関係者は「開始を早めれば暑い時間帯を避けられる。準々決勝は昨年と同様の対応も考えています」と説明した。

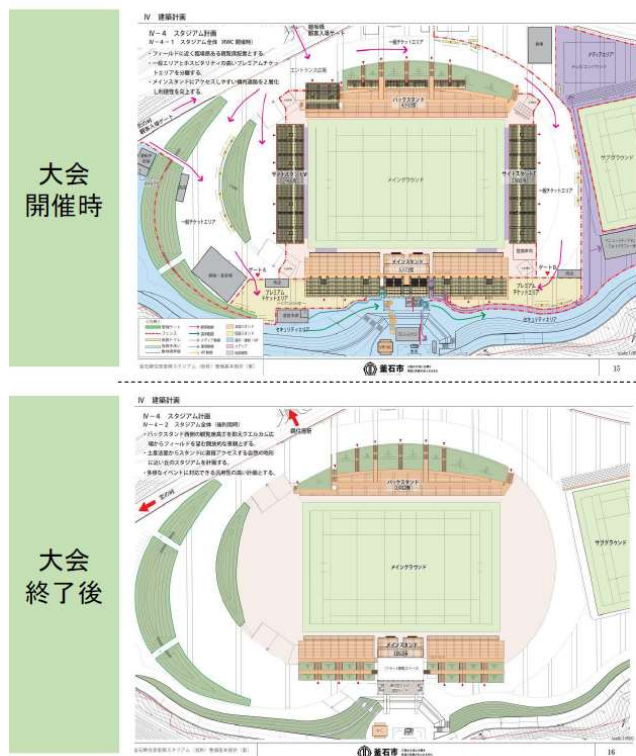
リーグとしてなぜここまで喫緊のメ切を設けているかということ、DAZNの中継を夜に統一したいとかではなく、環境リスクに対する配慮にあります。昨夏、東京では4種の公式戦を夏季に注視するという見当が為されました。京都でも、甲子園予選をナイターに移行するというニュースがありました。盛岡も、盆地で夏は暑く、冬は寒い土地柄の為、同じように熱中症のリスクが高いエリアと考えます。8/31になでしことのダブルマッチを開催しましたが、体感温度40度近い状態で、ダブルヘッダーとなりました。

昨シーズン、熱中症で倒れたお客様は幸いいらっしゃいませんでしたが、医務室で休まれるお子さんがいる等、大事には至らないものの、懸念すべき状態はございました。

別件にはなりますが、今年は新型コロナのリスクも高まっており、諸々の問題から回避する為にも、季節に応じて、スタジアム環境はもちろんのこと、試合前後のイベント開催につきましても、今まで以上に配慮を行き届かせて参れればと思います。

## ご参考: 釜石鵜住居復興スタジアム

- 大会終了後は照明等の一斉が撤去され、常設6,000席のスタジアムに変更



### スタジアム装備のビフォーアフター

- メインスタンド 2,090席  
: 5,172席⇒3,082席
- バックスタンド 2,000席  
: 4,932席⇒2,932席
- 両サイドスタンド 2,960席×2 = 5,940席  
: 5,940席⇒0席
- 大型照明装置 4基
- 一般チケットエリア(ブース)
- プレミアムチケットエリア(ブース)
- スタジアム売店
- プロトコルラウンジ
- 倉庫
- メディアエリア
- ベニューメディアセンター(カメラマン作業所)
- 個室・宴会場
- 運転手控室
- セレモニー関係者控室

続いて、スタジアムの観点で多くお声を頂いております鵜住居復興スタジアムに関して、一言述べさせていただきます。わたしも唯一行われたラグビーワールドカップの試合をご縁あって観戦させて頂きましたが、ハウリングの問題や、仮設維持の観点など、継続的に維持するのは難しいということは実感できました。ハイブリッドの芝の状態は最高で、是非活用してみたいですが、有料の興行となると、警備配置、交通アクセス、スタジアムグルメ、そして、ゴール裏が空いている状態の為、目隠しが必要となる等、超えるべき課題も多く見られます。そもそもサッカーゴールがないという事もございますが、開催するとなれば、復興記念のチャリティーマッチといった立て付けなど、単なる有料試合ではなく、何かしらの意義を見出し、皆で作る試合のほうが可能性は高いのではと考えます。

ちなみに、今年は、見事に盛岡シティマラソンとまた被ってしまったヴァンラーレ八戸さんとの試合が、盛岡市外の開催として、北上市で行う唯一の試合となります。

# 岩手のスポーツに 明るい未来を!

## 最高のスタジアム整備を実現しよう!

**■2022年6月までに照明がないとグルージャはJリーグに残れません。**

岩手県には、Jリーグが2022年6月までに必ず具備することを求めている照明付きのスタジアムがありません。現在、Jリーグ全55クラブ中、いわてグルージャ盛岡を含む、5クラブが最低限のJ3基準を満たすスタジアムを有しておらず1日も早い解決が求められています。

**■グルージャは、J3で優勝してもJ2には昇格できません**

いわてグルージャ盛岡が、J3→J2→J1へと昇格するためには、更に、J2 (10,000人収容) およびJ1基準 (15,000人収容) スタジアム整備の階段を登る必要があります。現在、全国各地で様々なスタジアム整備が進んでいます。

**■スタジアムを通じた子どもたちの育成**

スポーツをする喜び、見守る楽しみを通じて健全な育成に寄与するだけでなく、プロスポーツと日常で触れ合うことにより、子どもたちの夢の実現を後押しします。

**■スタジアムを通じた“いわて”の活性化**

Jリーグの試合開催だけでなく、アマチュアサッカー、ラグビー、更にイベントやライブなど多目的な活用が可能となり、年間を通じて“いわて”の活性化に大きな効果をもたらします。

東北地方で進むスタジアム整備

【呼びかけ団体】  
公益社団法人 岩手県サッカー協会 / 株式会社いわてアスリートクラブいわてグルージャ盛岡  
事務局：株式会社いわてアスリートクラブ 岩手県盛岡市助町副田6丁目14-4 2F

### Jリーグスタジアム基準を満たすスタジアムを岩手県内に整備することを要望する署名運動

公益社団法人 岩手県サッカー協会  
会長 佐藤 剛文  
株式会社いわてアスリートクラブ  
代表取締役社長 吉野 聡

私たち岩手県サッカー協会及びいわてグルージャ盛岡は、サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、岩手県民の心身の健全な発達と社会の発展に寄与するためにサッカーの普及に努め、スポーツをより身近にすることで、県民が幸せになれる環境を作り上げることが目指し、日々活動しています。その中で、岩手県サッカー協会は、県民に勇気と希望をそそぐことができるJリーグチーム・いわてグルージャ盛岡を応援し、グルージャは、J3リーグに加盟するトップチームの活動だけでなく、アカデミー・スクール、サッカー教室等のホームタウン活動の中でスポーツを通じた、子供達の健全な育成に力を入れております。しかし現在、岩手県内にはJリーグが2022年6月までに必ず具備することを求めている照明付きのスタジアムがなく、このままではいわてグルージャ盛岡はJリーグからの脱会を余儀なくされてしまいます。また、J3リーグを優勝しても、岩手県内にはJ2・J1基準を満たすスタジアムが存在しないため、J2には昇格できません。そこで私たちは、岩手県全土をホームタウンとするクラブとして、岩手県のサッカーやスポーツを通じた地域の活性化、子供たちの育成に繋がるスタジアムの整備を実現するため、署名運動を実施致します。趣旨にご賛同いただき、署名運動へのご協力をお願い致します。

- 【署名に関する注意事項】**
- ご記入いただいた個人情報は、目的以外の用途には一切使用致しません。
  - ご記入いただいた署名は取り留めて、岩手県・盛岡市へ提出します。
  - 署名にあたり、年齢・居住地は問いません。
  - 住所は都道府県から省略せずにご記入下さい。ご家族でご記入される際も必ずお一人一捺印を使用しご記入ください。また、住所が同じでも「同」と省略せずご記入ください。
  - ボールペンまたはサインペンにて必ず自筆でご署名ください。

**【募集期間】2019年3月12日(火)～2019年5月31日(金)**  
私たちは、岩手県内にJリーグスタジアム基準を満たすスタジアムを整備することを要望します。

No.	氏名	住所
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

いわてアスリートクラブへご送付・FAX 送信下さいようお願い申し上げます。  
**【署名に関するお問い合わせ・署名用紙送付・送信先】**  
宛先：株式会社いわてアスリートクラブ「スタジアムプロジェクトチーム」  
住所：〒020-0852 岩手県盛岡市新盛岡副田6丁目14-4-2F  
メール：stadium-for-iwate@iac-grulla.biz (PDFファイルでご送付下さい)  
TEL：019-613-6333 FAX：019-613-6334



ちょうど、今ぐらいの時期から、こちらの署名と登り旗を用いて、スタジアム署名活動を行わせて頂きました。

### 2019.3.12～5.31 県内外でのスタジアム整備署名活動



- ・ 県内にとどまらず全国各地から、遠くは盛岡の姉妹都市であるカナダ・ヴィクトリア市を中心に海外からも多数のご賛同を頂き、当初の目標であった100,000名を大幅に超え、最終的に141,347名もの署名が集まった
- ・ 県内に目を移すと、人口の4%(52,673名)、盛岡市内では人口の6%(16,854名)もの方々にご賛同を頂き、その内、95%が直筆でのご署名という結果となった



選手・監督・スタッフ、ファン・サポーター有志の方々による県内各地での署名活動

カナダ・ヴィクトリア市からのご賛同

県内出身Jリーガー・サッカー関係者(小笠原満男さん、菊池新吉さん、山本脩斗選手等)からのご賛同

県内にとどまらず、全国各地から、遠くは、昨シーズンから姉妹都市をご縁にクラブ間で提携を行ったヴィクトリア・ハイランダーズ FC のホームゲームで署名を頂き、また、街頭・様々なイベント会場での融資での署名活動、菊池新吉さんや山本脩斗さん、小笠原満男さん、藤村慶太さん、菊池流帆さん等の県内出身J

リーガー、サッカー関係者の皆様、本当に多くの方々のおかげで 141,347 名もの署名を集めることができました。まだ最終段階ではございますが、こうした皆様の想いが、昨日のニュースまで辿り着けた賜物だと強く感じております。



もうじきに始まる J3。今シーズン初のホームで当たるロアッソ熊本との試合は、去年は 3/31、大雪での開催でした。チームバスが到着した際の写真がこちらになります。





150名にもおよぶサポーター、アカデミー選手達、菊池利三監督他、チームスタッフ、ベンチ外選手達との、6時間にも及ぶ除雪作業により、奇跡の試合開催。しかし、ご覧の通り、試合中も雪に見舞われ、緑のラインに白のピッチで試合は行われました。



沢山の方々の努力で開催した、絶対に負けられない戦いでしたが、結果は敗戦に。それでも、試合終了後、キャプテンの福田選手がイレブンを引率し、ズボズボと除雪した雪の中に入り、ゴール裏サポーターに深々と頭を下げたシーンは、昨日のここのように思い出されます。ちなみに、友也は最後の挨拶がそっけないとサポーターとの会話で指摘を受けましたが、元々シャイな中、負けた時の悔しさと申し訳なさで、挨拶がそっけなく見えてしまっていました。シーズンを通じて、自身の成長と共に、本当にチームを束ねてくれたと思います。

このような環境下での試合は、何も、グルージャに限ったことではありません。岩手でサッカーをするすべての人達が、同じような環境で頑張っています。



12

では、隣の県はどうでしょうか。こちらの写真は、秋田商業、青森山田、そして福島尚志高校になります。どこも、ここ数年で更に力をつけ、全国の強豪校として、各県のサッカー界を引っ張る存在になっています。岩手は正直、他県から離されつつあります。

## 青森県



青森山田高校



本社工業無人機で撮影

13

青森では、左写真のとおり、新設の陸上競技場が完成しました。右上は、青森山田高校のグラウンド、そして右下は、昨シーズンに苦汁をなめたヴァンラーレ八戸さんのホームスタジアムです。八戸さんは日頃の練習もここでを行い、お昼を食べ、フロント事務所も併設されています。

## 秋田県



続いて、こちらが秋田県になります。最近、更に進化した全天候型のスタジアム構想が打ち出されましたが、着々とスタジアム検討は進んでいます。右下が秋田商業のグラウンドです。県内の高校サッカーにも芝グラウンドがないわけではないですが、環境面の大切さを実感することができるかと思います。

岩手では、高校卒業後もそれなりにサッカーを続けるチーム、環境がありますが、わたしもそうでしたが、基本的には、18歳までの高校サッカー人生をピークに燃え尽きるというのが、今でも変わらない現状です。その高校までのサッカー人生の中で、少しでも充実した青春を送れるよう、またその後の人生においても、スポーツを軸とした豊かな生活が出来るような環境を整えたいというのが、今回のスタジアムプロジェクトのベースとなります。

実際、いわぎんスタジアムは、5-11月が稼働時期の為、3月、4月、12月は特例で使用させて頂いております。また、週1回の活用が基本の為、我々が昼に借りていると、他の団体が借りづらいう実情があります。昨秋、三ッ沢競技場でYSCCさんと試合をする前日に、同じピッチでマリノス対ベルマーレがありました。翌日の状態が心配でしたが、見事なグラウンドキーピングで芝の状態は回復していました。週に2度使わせてくれという訳ではないですが、ナイターが出来ると、稼働時間も大幅に伸びます。A面、B面の利点も活かしながら、いわぎんスタジアムの有効活用の幅が広がることを願いたいと思います。

### 【昨シーズンの振り返り】

続きまして、昨シーズンの振り返りを簡単に述べさせていただきます。

昨季も、大雪や雷雨、暴風雨等が重なる中、初の試合延期もせざるを得ないこともありました。無事にシーズンを終えられたのも、ボランティアスタッフの皆さまをはじめとした関係各位のおかげであり、心から御礼申し上げます。結果は、後半、予想だにしない「一度も勝てない」という状態に終わってしまい、本当に申し訳なく思っております。



斯様な中、めんこいテレビ様のお力添えにより、女子ワールドカップ終了後に、INAC 神戸さんとのダブルマッチを開催でき、また、ラグビーワールドカップの関係で、最悪の場合、県外開催も辞さない覚悟を持った中、北上市様にて秋に2度の開催を許可頂いたり、例年とは異なる催しも実現することができました。

チームに関しては、成績は最下位に終わりましたが、選手達の怪我の状態が改善され、一昨年の反省は活かされた点もございました。菊池監督ももう一シーズンリベンジをしたかったと思いますが、クラブの転換期という事もあり、監督の座は離れ、今季はGMを引き受けてくださいました。

昨シーズンの総括からは、田中の方から後ほど説明させていただきます。

フロントに関しては、地元との新しい連携が深まり、本当に多くの方々に知恵とサポートを頂き、少しでも賑わいを上向きにできたように感じております。水沢商業の学生・新卒頂いた先生によるグッズ等の販売の促進、盛高商店さんによる書籍コーナー、また昨シーズン在籍していたメンバーの工夫によって、芝生の席のテーブルやバーカウンター、スタジアム全体を囲った一岩シート等、コンテナを一つ増やしてぎゅうぎゅうに詰めて、装飾をレベルアップさせることは出来たのは収穫であったと感じています。

しかしながら、雨・風・雪といった気候の問題や駐車場問題は完全に解決できずにありますので、そうしたところも少しずつ解決していき、来年には暑熱対策・落雷リスクの回避が一つ達成されますので、そうした点でも、昨シーズン打てた布石は、追々目に見える形として現れてくると感じております。

### 《今シーズンの展望》

この後、沢山頂いたご質問でもお応えさせていただきますが、今シーズンは「J2昇格」というのが、クラブとして唯一に近い目標として、掲げられています。この目標に向けて、過去にない規模でのキャンプを張っております。鹿児島、宮崎、そして今日（2月22日）から高知県に向かい、第2節の藤枝戦まで高地にキャンプを行います。選手も、過去のグルージャでいなかった経歴の選手が揃い、ブラジル人選手も4人います。昨年からはほぼ全員がプロ契約でしたが、今シーズンは100%プロ契約の選手構成となります。

昨季は、過年度から継続してサポート頂いたスポンサーの皆様、新規でサポート頂いた皆様のご協力の下、選手達はオンザピッチ・オフザピッチの双方で充実した時間を過ごすことができ、リカバリー、セカンドキャリアにもつながる学習、初動負荷のトレーニングなど、充実したものでした。

今季は、見ての通り100%プロ契約の選手です。彼らは、秋田監督の下、2部練習も定期的に課す予定であり、サッカーに集中してJ2昇格に向けて取り組むことが、至上命題になります。フロントとしては、夕方以降にホームタウン活動を選手達にお願いしていたので、若干寂しさもありつつ、一方で、Jクラブとして上を目指すうえでは切っても切り離せない変化もありますので、選手達にはサッカーに集中してもらいたいと思います。

他方、今シーズン来た選手についても、今後リリースがあるかとは思いますが、色々な想いで盛岡に来てくれており、生活して間もない岩手の地で少しでもプロスポーツを通じた貢献をすべく、色々と計画を練っている選手もいます。そうした選手の応援に関しても、活動の様子を見ながら、徐々に感じて頂ければと思い

ます。

では、ここからの事前の Q&A に入らせて頂きます。

### ライセンス関連

- 今シーズン、監督&選手達が優勝&昇格を目標にされていますが、今年度 J2 ライセンス獲得の見通しあるのか？（ナイター設備問題の J3 ライセンス維持の見通しも知りたいです）
- 「J2 昇格」との発言が監督を始め様々聞こえてくる。2021 シーズンは J2 ライセンスで申請するのか。
- 昨季以上に「J2 昇格」というフレーズを SNS やらメディアで選手・監督らが公言している印象だが、J2 昇格できる見込みが今季あるとお考えか。それともただの宣伝文句や昇格するという意思表示なのか。

先程ご説明いたしました通り、J2 ライセンス取得を目指しております。ライセンス取得に向けては、先程ご説明した内容の他、財務基準のカバーもございますが、こちらは公認会計士からの監査を行っていただく必要があり、現在、粛々と対応を進めております。

- 釜石シーウェイブスが参入を検討している、ラグビーの新たなリーグでのスタジアム条件は収容人数等 J リーグに近いものとなりそうな報道が見られる。釜石 SW と協調してスタジアム整備をする、という可能性はあるのか。

釜石シーウェイブスさんとのスタジアム改修に関する連携でございますが、現在の動きですと、そうした連携はないというのが回答となります。これまで、シーウェイブスの桜庭 GM とは個人的にも親しくさせて頂く中で打合せはさせて頂いており、シーウェイブスさんのトップリーグ参入に関しても意見交換をさせて頂きました。他方、まずはグルージャの時間軸の中で照明の具備を進めていくことになったので、そこは独自路線になろうかと思えます。一方、3年計画でのスタジアム構想の中では、ラグビーとの共存も十分に考えられますので、今後、シーウェイブスさんとの連携が現実になれば、それは素晴らしいことだと思います。

- J2 ライセンスに適合するスタジアムの目途、現状を教えてください。
- J2 昇格にはスタジアム規定が最も大きなハードルになると思われれます。スタジアムは現在のいわぎんスタジアムの改修をお考えでしょうか。それともスタジアムの新設をお考えでしょうか。

こちらに関しては、まだどちらともいえないというのが、現状となります。前回のサポカンの際にご説明いたしました、J リーグおよびスタジアムの専門業者に盛岡に来ていただき、盛岡市・岩手県サッカー協会およびグルージャ向けにプレゼンを行っていただきました。その際、いわスタの改修で 1.5 万人を目指すとなると、B ピッチの改修が現実的で 75 億円。他方、新地に作っても 75 億円。水道・ガス・光熱などのインフラは除いた数字ですが、そのような概算を頂きました。



盛岡市には今回、かなりご負担をかけて照明の具備に動いて頂いたので、今後、スタジアム改修となると、どこでどのように動くべきなのか、私自身の中でも目途が立っておりません。他方、興味があると仰っていただいている市町村もございますし、国の助成金に頼るにしても、スポーツだけでなく、街自体の課題解決を視野に入れた街づくりという観点に立つと、スタジアムの実現性は別の角度から高めることができます。計画の観点と勢いの観点が同時に合わさることが大切な為、双方を逸しないよう進めていくことが肝心であると感じております。

続いて、フロントスタッフ関連の質問が多かったので、まとめさせていただきました。

### フロントスタッフ関連

- 昨年までのフロントスタッフがほぼ退職した要因はどこにあるのでしょうか？またなぜ引き留められなかったのか教えて頂きたいです。「NOVA が追い出した」との噂が広がっています。社長の見解を伺いたいです。
- 今まで頑張ってきたフロントスタッフはほぼ皆辞めているが、なぜやめたのか。
- 新体制発表会で見たところ、今までのフロントスタッフの姿が見当たらず、社長と田中さん以外、新しいメンバーに見えました。HP や SNS の発信の質が極端に悪くなりましたが、広報が変わったのでしょうか。
- チケットやグッズ等、フロントの仕事がこんなに遅かったことは無いが、既存社員以外にプロスポーツクラブのフロントを経験したスタッフはいるのか。開幕が心配です。
- 今日の登壇に新しいメンバーがいないですが、NOVA の方々は常勤でしょうか。監督人事やスポンサーセールスなど、昨年からは大きく方針が変わっていることは明らかな為、期待の持てる説明をお願いしたいです。
- パルコホームさんがオーナーとなって以来、限られた資金の中で、工夫しながら本当によくやっていたと思います。NOVA さんがグルージャを応援いただくことになり、今のグルージャならば本当にいい買い物をしたと思いましたし、サポーターも大きな期待を持ちました。トップチームを豪華にしたり、ドルトムントと提携しても、そこに軸がなく、フロントのレベルが低ければ、クラブの成長は厳しいと思います。NOVA さんが、今の勢いでずっとグルージャを運営されることを願っています、ぜひ頑張ってください。

わたしともう一名、営業のスタッフの者が現在も残っております。また、強化の田中、および昨シーズンまで GM を担っており、グルージャ創成期から勤務している中村学が今シーズンから育成に特化した形で携わっております。その他のメンバーに関しては、理由はそれぞれですが、退職を致しました。Jリーグクラブで働くにあたって、一つの選択肢として新潟にある JAPAN サッカーカレッジという学校があるのですが、当学校の出身であった広報は、J2 クラブの広報に転職し、運営の者は、同じ J3 のクラブの広報に転職を致しました。その他、昨季いたメンバーもそれぞれの人生を模索しつつ、転職いたしました。要因については、本当にそれぞれの気持ちがある中で、このタイミングで皆去ることになりました。

新しいスタッフに関しては、頭数としては、昨年よりも若干多いところまで増えております。プロスポーツクラブを経験したスタッフはいるのか？というご質問も頂戴しましたが、藤枝 MYFC で主務を担当してい



た大石さんに今回グルージャに来ていただきました。主務というポジションは、グルージャにも大江という変えの効かない人材がいるのですが、主にトップチームのマネージャーを行う職務になります。大石さんの担当は運営のため、以前の役職とは異なりますが、元々サッカーをしており、また昨季もアウェイ戦でいわスタに来てくれている等、一定程度の肌感覚は持ち合わせています。2月の赴任早々から、わたしと一緒にいわスタに何度も足を運び、指定管理者との打合せを重ねながら、滞りなくホームゲームを運営できるよう、動いて頂いております。

本日の登壇に関しては我々2人で実施させて頂きましたが、親会社のNOVAからも複数名常勤で来て頂いており、また、中途採用の中には、一昨年で引退した益子義浩も営業として新たに加わっております。スタッフ編成としては、「最高のスタッフ編成が為されているか」というご質問も頂戴しておりますが、こちらに関しては、今後、NOVAグルージャとして月日が流れていく中で、皆様に価値を届けられるよう頑張っていくのみと考えております。

最後はご意見として頂戴したものでございますが、パルコホームさんには2017年から三年間、責任企業として引っ張って頂きましたが、そうした中で、過去の負の遺産を、見た目上も勿論ですが、中身もそうとうキレイな状態まで持っていただき、NOVAさんが興味を持って頂ける、Jクラブらしい価値を出せるレベルまで引き上げて頂いたと思っております。今回の選手獲得はかなりの勢いがありましたが、一過性に終わらず、今後の永続的にこの勢いを持続させて、J2/J1への道を切り拓いて欲しいと思っております。

次に、クラブ全体としての理念・ビジョンになります。

### 理念・ビジョン

- 過去の失敗から学び一岩のクラブとなるために、時代と共に変えるべきこと、変えてはいけないことは定義できていますか？(憚)いわてアスリートクラブの行動指針(バリュー、クレド)はありますか？また、新しく入ったフロントスタッフにそれらは共有されていますか？
- 今シーズンから本格的にNOVA傘下となり新しいクラブ経営となっていますが、グルージャの将来のプランについてももう少し詳しくお話頂けないでしょうか？
- メインスポンサーがNOVA社様に代わり、選手獲得をみただけでも、今までの運営とは大幅に変わったと思われる。今年度の予算を教えてください。また、当面何年間グルージャの運営のサポートをしていただけるのでしょうか？契約年数があれば教えてください。グルージャの歴史上、(手堅い?)運営を望みます。

加入して間もないスタッフも多いので、手探りというのが正直なところです。まだサンクスパーティー、新体制発表会以外にはファン・サポーターの皆様と触れ合える機会もなかったので、今後、現場が始まる中で空気感を感じながら調和していければと思います。

将来的なプランでございますが、新しい経営陣になる中で、正直、中長期的な確固たるプランといったものは、J2昇格、いずれはJ1を目指そうというトップチームのカテゴリー昇格以外には打ち出されておられません。まず、目の前にある試合に勝ち、J2に昇格し、そこから新しい世界に向かうというのが、現実的な目



標になります。

今年度の予算のご質問を頂戴しておりますが、NOVA ホールディングスのグループ会社となったことにより、ある程度の予算感ではJリーグに1月末時点で提出しておりますが、必要なものを必要な分だけ投資するというスタイルで、監督や選手獲得含め、全体的な運営は行われております。

今回、株の51%を取得してスタートを切っておりますので、契約年数といったものはございません。あくまでも、スポンサーではなく筆頭株主としてクラブの運営に携わっておりますので、ピリオドは特に決まっております。経営手法に関しても、NOVA ホールディングスグループとして、グループの他企業同様、堅実な運営をしていくというのが、方針となります。

#### スポンサー関連

- ユニフォーム、アップウェアを見るとスポンサーがNOVAしか見当たらないのですが、営業活動の現状を教えてください。昨年から継続して頂けるスポンサーは約何パーセントなのか教えてください。
- スポンサーの件ですが、今年からビックスポンサー獲得が重視されているようで、昨年までの地元スポンサーが軽視されているように感じますが、方針はいかがでしょうか？

昨シーズンの新体制発表会ではほぼ埋まっている状態で発表させて頂きましたが、今回、発表の1月中旬段階では、運営母体変更の過渡期でもあり、スポンサーを詰め切れていなかったということもありましたが、現状では、昨季のスポンサー様3-4社がユニフォームスポンサーとしてご継続頂く内諾を頂いております。追って、リリースをさせていただきます。

継続させて頂いているスポンサーの割合ですが、営業活動を本格化できたのは、今月からになります。本日はスポンサーさんも会場にいらっしゃいますが、セールスシートもガラッと様変わりし、一件一件、新しいスタンスでの営業の説明に回らせて頂いているところでございます。通常ですと、7月にはユニフォームスポンサーの営業を開始し、9月までには大凡の目途を決め、10月以降、来季スポンサーの営業を本格化させるスケジュールでした。

地元スポンサーをないがしろにしているのでは、というご質問を頂戴しておりますが、既存のスポンサー様をほぼ100%中心に、営業スタッフにて廻らせて頂いております。スタートが遅くなってしまった分、シーズンの期中も含めて、本格的にPRしていければと思います。

#### サポカン関連

- 質問ではなく要望だが、クラブ・チームの考えを知ったうえでシーズン開幕を迎えたいので議事録は第1節までに公開できないだろうか。
- 毎回サポーターカンファレンスの議事録が出されていますが、公表までに時間がかかりすぎでは？と思います。もう少し早く発表できないものでしょうか？
- 今回もそうですが、サポーターカンファレンス開催についての日程発表を、もう少し早く発表して欲し





かったです。1~2週間先では予定も立てられないです。せめて1ヶ月以上先には発表して欲しいです。

サポカン関連で、議事録が遅いという点、申し訳ございません。結構、文字起こしが大変で、昨年までも、長谷川という広報の者と頑張ってやっていたのですが、「ながら作業」で進めざるを得ず、誤植の修正なども含めて時間を要しておりました。今回は時期も時期ですので、最短で出せるよう努めて参ります。

また、サポカン開催のリリースにつきましても、もう1-2週間程早めに出せるよう、次回は意識いたします。

続きまして、キズールに関するご質問を頂戴しました。

### キズール関連

- キズールのキャラが変わってしまったようですが。。。気のせいでしょうか？
- SNSに力を入れてほしいと質問を昨年送りましたが良くなるどころか後退してる気がします。今年になってSNSやオフィシャルホームページの担当者が変わりましたか？  
何故か昨年のような発信力が無くなった気がします。発信に関しても何か違和感を感じます。例えばキズール関連のつぶやきにしてもキ『。。。』という無機質を売りにした？文体だったがキズール『。。。』に変わりましたよね。  
これちょうどその時期にエゴサしていたなら解ると思いますが不審がってた方もいました。宮野さんは解ると思いますがマスコット好きな層はそういう細かい部分にも厳しいですし中の人の異変に気づきます。  
逆にキズールをいよいよハッキリとキャラづけしてやっていくと言う(BB秋田のように)確固たる意図がある方針なら文句はなくそれは納得なんです、単純に前回発信していた方との引き継ぎミスなら細かいディテールをしっかりと統一、引き継いで貰えないでしょうか、  
これはキズールの件だけでなく今年になってからかなり積み上げてきた者がブレている部分があると思うので小さい事とは思わずにしっかりと話し合い徹底してほしいです。

キャラ変したが、気のせいでしょうか？ということですが、去年まで、キズールのグッズやSNSの発信をしていた者が別のクラブや他業界に転職したことを受け、まだ、キズールとの連携が上手くいっていないというのが、実態でございます。いずれ、大丈夫になっていくとは思いますが、意思疎通の問題を孕みますので、変わらぬ状態に落ち着くよう、努めて参ります。

広報関連でも、多数ご意見・ご質問を頂戴しました。

### 広報関連

- **Twitter** や **Instagram** でドルトムントのオフィシャルアカウントをフォローしてもらえないでしょうか。グルージャの公式アカウントは有名人や企業などは交流が出来た時点でフォローしてきたはずで、今、ブラジル人選手効果で海外のフォロワーが増えています、ドルトムントと提携したからこそ



繋がりを海外にアピールしてほしいです。もっと海外の層を取り込めば Twitter、Instagram のフォロワーを増やせるはずです

- オフィシャルサイトの「選手プロフィール」でブラジル人選手がアルファベット表記の理由を教えてくださいたいです。なぜカタカナ表記にしないのでしょうか？
- ホームページのトップページにホームゲームイベント出演者募集とありますが、内容が 2017 年のままとなっています。昨シーズンは募集していたのでしょうか。また、今シーズンの募集の予定はありますか。
- トップページのニュースは新たなニュースがリリースされる度に下になってしまい分かりづらくなってしまいうため、試合情報や今回のサポーターズカンファレンスの質問募集、ボランティア募集などに関するリリースは分かりやすい位置に常に表示されるようにしてはいかがでしょうか。
- また、一度リリースしたものを後日改めて更新した際には、【〇月〇日試合情報更新】などとトップページから一目で分かるようにしていただくと助かります(グルマル情報など、更新に気付かず当日試合に行ったら出店していないということが何度かありました)。

いずれのトピックスに関しても、ごもっともであり、真摯に受け止めたいと思います。

広報自体に関しても、サーバーダウンの改修をようやく終えたところでございます。写真の載せ方や見せ方も、過年度とはテイストがだいぶ変わってきたこともございますが、質が落ちるといってはならない点でございますので、広報担当にもよく指導しながら、すぐにでも、ファン・サポーターの皆様がストレスを抱えない状態にするよう、取り組んで参ります。

#### ホームゲーム関連

- 昨シーズンも選手から「熱量が足りない」「もっと熱く一緒に戦ってほしい」等々言われてしまいました。  
ゴール裏の方たちが懸命に盛り上げようとしても、その思いが伝播していない現状が歯痒いです。  
クラブからも、観客の心を熱くさせるような仕掛けを考えていただけないでしょうか？  
「勝てば自然と熱くなる」ではなく、まずは「選手を鼓舞する熱い雰囲気作り」ですよね？  
「奇跡の J2 昇格」を実現させる為にサポーターへ望む事があれば遠慮せずズバズバとおっしゃってください。
- 「奇跡の J2 昇格」を実現させる為にサポーターも意識改革が必要ではないでしょうか？理想のサポーター像について宮野社長、田中強化部長のお考えをお聞きしたいです。今のサポにダメ出ししても結構です。是非本心を！（例えば、先日の新体制発表会。「横断幕を掲示してハイ終わり、後は傍観者をきめこむ」のではなく、選手・スタッフを チヤントで迎え、選手紹介時にはコールで鼓舞してほしいかっ。とは思いませんでしたか？)

ホームゲームの応援に関して、質問というより、意見を求められましたので、お応えしたいと思います。  
まず、ゴール裏サポーターの皆様には、雨の日も風の日も、変わらぬ熱い応援を頂き、私自身も、ホームゲーム終了後に毎回会話させていておりますが、本当に感謝しております。もっとこうして欲しいというより、寧ろ、常々、ゴール裏のスペースを通路兼ではなく、もう少し階段を作った環境にして欲しいと頂いており、わたしも本当にその通りだと感じているので、まずは、ゴール裏の応援の環境を整備することが先決



と考えております。一朝一夕には出来ない為、時間を要しますが、熱く応援できるように改善していければと思います。田中さんいかがですか。

(田中)

このタイミングで振られるのを忘れておりましたが (笑)、いつも、変わらず厚く応援頂き、本当にありがとうございます。スタジアムの雰囲気を作って頂いているのは、一重に、応援頂いている皆様だと思っておりますので、その輪を、少しでも広げられるよう努めて参りますので、今シーズンもご声援の程、よろしくお願いいたします。

### グッズ関連

- 発表会でもらったステッカーもそうでしたが、なんとなく、デザインも変わってきたように感じます。デザインも一新される予定ですか。個人的には、今年も岩手らしさに注目したユニフォームのデザインは好感をもちました。
- レプリカユニの案内が、遅いのでは？開幕戦、間に合いますか？
- 新体制発表会でユニフォームの暫定版が発表されました。ただ、他のスポンサーが何処に入るのでしょうか？そしてユニフォームの受注開始はいつぐらいを目処に始めたいでしょうか？(参考にjリーグ公式ストアで見たところ去年のユニフォームオンライン受注は4月開始でした。)早めを買って、シーズン開幕に備えたいです。
- ユニフォーム配布時期について2月21日現在、ユニフォームの販売については何も通知されておりません。毎年のお願いではありますが、リーグ開幕戦までには新シーズンのユニフォームをサポートが入手出来るような販売体制の確立をお願い致します。
- いわスタがグルージャホワイトに染まるよう、もっともっとレプリカユニフォームの販売の拡大を推進していただきたいです。

今季のユニフォームは昨季から決まっていたものではあります。最近、デザインが変わったんじゃないかというご質問を頂戴しました。

どのグッズをみてどのようにお感じになられたかにも依りますが、デザインに関しても、ちょっとずつ、変化はしてくるかとは思いますが、ベースとしてグルージャのエンブレムやロゴは変わりませんが、嗜好性という観点で、これまでとは異なったテイストのデザインが発信されるというのは、今後起こり得ます。様々なラインナップが出て参りますので、気に入るもの気に入らないもの含めて、なるべく多くのファン・サポーターに皆様に喜んで頂けるよう、工夫を施して参ります。

次に、レプリカユニの販売時期でございますが、昨季はJリーグオンラインストアへの移行で2月中旬に販売開始しましたが、今季は、まだ販売開始で来ておりません。中国の生産遅延の影響も最終的に起きてしまっており、わたしのほうでも正確な販売開始時期を把握できずにはおりますが、開幕までにはお手元に届けられるよう、担当スタッフにて努めて参ります。

### 集客関連

- スタジアム建設も急務ですが、集客についてどの様に考えているか、お聞かせ下さい。若者が集まる、熱いゴール裏を期待しています。頑張り、いわてグルージャ盛岡。



- 集客に向けて新たな施策は考えているのか教えてください。

正直、集客のほうに手が回っていないのが実態でございます。昨年の積み重ねという観点では、昨年製作したものを使えるといった利点もあり、ボランティアスタッフを増やすという観点で、昨年以上のサービスを提供するといったリリースも出ています。呼び込みという観点でも、幾つか決まっているものもございますが、実際にスタジアムの施策に関しては、製作中という段階でございますので、安心・安全を確保しつつ、少しでも楽しい空間が作れるよう、取り組んで参ります。いずれにしても、勝って、注目頂いて、来てもらうというのが、今シーズン注力する施策になろうかと思えます。

### チケット関連

- 今季のチケット価格の根拠を教えてください。もう少し安いエリアを設けても良いのではないのでしょうか。
- シーズンパスや前売・当日券の価格についてですが、昨シーズンの価格設定は、チーム成績の悪さもありだいぶ高く感じました。熱心なサポーターであれば購買意欲はあるでしょうが、普通のお客さんは決して気軽に行ける金額ではないと思います。今シーズンの価格設定も含めて何か対策・キャンペーンはどうなっているのでしょうか？
- 「2020 ホームゲームチケット価格および席割決定のお知らせ」のリリースが他クラブと比較して「かなり」遅いという認識はあるのか。
- 2019 シーズンのチケットに関するリリースは「Jリーグチケットに対応するため」遅くなったと昨年のカンファレンスで話があったが、今年は何故その2019年より（1日ではあるが）遅くなったのか。
- メインスタンド中央部をVIP席とした意図を知りたい。
- 試合中継の選手入場時に一番映る場所がVIP席となっているわけだが、その際の見栄えは考慮されたのか。正直に言って、VIP席のお客様が選手入場時までに着席しタオルを掲げている姿は想像しにくい。

チケットの価格に関しては、昨シーズンと同様のチケット構成で販売させていただきます。チケット価格変更の検討はあったように聞いておりますが、変更はございません。安いエリアのチケットは過年度も検討しており、チケットの区画の微調整などは行いましたが、どこから見てもあまり変わらないという結論に達しまして、まだ、屋根がかかっているところも、ほとんど関係者席やDAZNで埋まっておりますので、そこまで差別化は測れないんじゃないかという議論になり、大きな変化は加えない方がいいという視点に立っております。

チケットの販売時期に関しては、昨シーズン同様、2週間前を最遅の目途として各プレイガイドと調整しております。シーズンパスの販売が遅れている件につきましては、レプリカユニ同様、誠に申し訳ございません。早急に販売できるよう、取り組んで参ります。

次に、メイン中央部をVIP席とした理由を教えてくださいというご質問を頂戴しております。こちらにつきましては、スポンサーのメリットをより活かすべきだという検討があり、このような結論になった経緯があるようです。VIP席が拡大したのはいいが、ど真ん中が空洞ということにはならないよう、見栄えの観点でも、対策は打っていきたいと思えます。

## ホームタウン関連

- ・ 岩手県全県のホームタウンとして、県南の一関にスクールも誕生し、なによりサトウマンションとのコラボなどで県北のサポーターがかなり増え名実ともに岩手全県のクラブに近づいている感じがします。昨年のサポカンで県北や沿岸にもスクールを作りたいと言っていたが、今後スクールなどを拡大出来るのか？  
県北、沿岸などにもスクールを作り県北、沿岸のサッカーしている子達との繋がりを作ってほしい
- ・ 今季はホームタウン各市町村でのイベントを企画しているのでしょうか？
- ・ 大人のサッカー教室ですが、HPの内容見て過去の情報のままになっていて、実際に開催されているか不透明です。現在は開催していますか。
- ・ グルージャホームゲームの強みの一つである選手との交流イベントはぜひ継続してほしい。例えば試合後のエンディングイベントは、勝利と合わせることで熱量も上がり様々な相乗効果が期待できると思う。現場にもご理解頂き、次節への誘導（チケット購入）も含めてぜひ実施してほしい。

県北や沿岸地域への拡充の観点で、ご質問を頂戴しております。スクール等に関しても、育成部門の中村を中心に、色々と話は進めているのですが、どうしても、マンパワー、開催地等でうまくはならず、一関の開講が唯一の状況になっております。こちら、マンパワーとの兼ね合いが強いですが、引き続き検討を進めて参ります。

ホームタウン各市町村でのイベントは、昨年から継続した施策はまだ打てずにおります。新スタッフへの落とし込みが進んだところで、徐々に実行していければと思います。

大人のサッカー教室に関しては、スタッフの属人的要素が強かったので、意義はありますが、私自身も開催の内容をよく把握できずにおりました。今年以降の開催はまだ検討しておりません。

ホームゲームでのチームとファン・サポーターとの距離感は、J3・グルージャならではのものがあると自負しております。昨今の新型コロナの関係もあって、気を付けなければならない点もございますが、いい意味での距離感は大切にしていければと思います。

## フロント関連 その他

- ・ 安比に数年後、インターナショナルスクールができます。アジアからたくさんの学生が入学することが期待されます。NOVA・グルージャ・インターナショナルスクールで連携し、サッカーを通じてアジア圏をターゲットになにか面白いことができるのではないかと考えているのですが、検討してみてもいいでしょうか。今季はホームタウン各市町村でのイベントを企画しているのでしょうか？
- ・ いわてグルージャ盛岡の公式スマートフォンアプリを作ってほしい。若い世代にもいわてグルージャ盛岡に興味をもってもらおう。
- ・ アウェイ試合時に、一昨年の菊池前社長は、遠征来られる度にゴール裏に、顔だしして頂け色々お話出来たのですが、昨年はあまり記憶ありません。ホームを仕切っている人間は、ほぼアウェイには来ないので、コミュニケーションをとるためにも、お忙しいのは判るのですが来て頂きたいです。ちなみに、



私は J3 になってから歴代の社長のお名刺頂いていましたが、現社長のは頂いていません。(たまに、アウェイ側での問題があった時にご連絡していました。)

- 昨年行われたヴィクトリア・ハイランダーズ FC との提携は、姉妹都市でもあり、少しでしたが提携の様子が見えました。ハイランダーズに加入する日本時選手のグルージャ練習参加や、メイプルウォータールのイベント、ハイランダーズでのいわての食イベント等。ドルトムントの提携は、具体的にどのようなことが行われるのでしょうか。
- 昨年で満了になった福田選手や江頭選手などは、大手に就職したと聞こえてきます。パソナとの提携は今年も継続でしょうか。せつかくの提携ですので、こういうのは大切にしてほしいです。
- J3 初年度からしばらくの間、試合中どの選手も足を滑らせるようなシーンが見受けられて、芝の状態が良くないかなって思っていました。最近見なくなった気がします。ピッチの整備で何か変わったことがあったりしますか。

最後に、その他ご質問にお応えさせていただきます。

安比にハロウスクールの開校が予定されていますが、グルージャとのコラボは特に予定しておりません。

グルージャ公式アプリは、個人的には業者と検討していた経緯もあり実現したいですが、新体制においてはアプリまで手が回っておらず、おそらく可否の判断も為されるかとは思いますが、現状では未定です。

アウェイ遠征時は、実行委員業務の他、福田パン・たこ焼き・グッズの販売、キゾール対応等を目的に行っており、ゴール裏にも挨拶には伺っていましたが、今後はお会いした方には名刺も持参してお渡しできるように改善致します。

ヴィクトリア・ハイランダーズ FC との連携は、小さい規模ではありますが、姉妹都市ならではの提携を実現することができました。今年はカナダ代表の引率でオーナーのマークも来ますので、グルージャとしてもホストタウンのアプローチでカナダ代表をサポートできればと思います。ドルトムントに関しては今年7月から本格的に契約がスタートいたします。先んじて、ドルトムントサッカーアカデミーからスタッフがレンタルではなく、完全にグルージャのスタッフとして異動頂きました。キム・ソンヨンはじめ、人柄もよく、実際にプレイでも魅せられるメンバーが揃っておりますので、旧メンバーと融合して、より良い育成環境を整えられればと思います。

次に、福田と江頭の就職ですが、本人たちから許可を得ていないので企業名は明かせませんが、本当に、良く受かったなという企業に就職しました。2人ともパソナさんには本当にお世話になっており、1年間のオフザピッチでの研鑽が結果に結びついたと思います。福田に関しては、キャプテンとしてチームを引っ張って頂きましたが、いわゆるビジネスマナーというか、受け答えがどんどん良くなり、パソナでの経験がサッカー選手としての振る舞いにも大きく影響を与えていました。雷雨で中止になった試合で、率先してファン・サポーターの皆様との触れ合いを行っていたシーンはひじょうに印象的でした。江頭に関しても、9社から内定をもらったようでして、まだ若いですが、サッカーの道はスパッと切って次に進む潔さは凄いなと思いましたし、ただ、2人ともギラギラしているので、しっかりと稼ぐと思います(笑)。今季以降のサポー



トの形は定まっておりますが、2部練習の中でも、セカンドキャリアのサポートという観点でご連携していただければと考えております。

最後に、いわスタの芝の管理の向上についてご意見を頂戴しました。指定管理の方々は、グルージャが勝てるよう、年間を通じて本当にサポート頂いております。試合開始時には何mmになるよう調整して頂いたり、スプリンクラーが古いこともあって試合直前やハーフタイムに撒けないのですが、それでも出来ることをなるべく取り組んで頂いている姿勢には、本当に感謝しております。今季加入した選手にとっては満足いくものではないかもしれませんが、それでも、ホームに慣れ、地の利を生かして頑張ってもらいたいです。

ここから、トップ・アカデミーに移ります。

ここからは、田中にてご説明させていただきます。

### トップチーム関連

- 今シーズンから NOVA の傘下としてグルージャは再スタートするシーズンなのに未だ哲学も示されなく何を根拠に監督人事や編成が行われ、アカデミーにはドルトムントのメソッドを導入したのか。順番がおかしくないかと思い質問しました。
- すべて、今シーズンから一新するのであれば、まずはフィロソフィがないと始まらないと思います。その先に進み行き詰まったときや、経営陣・スタッフが変っても立ち返る場所はフィロソフィだと思います。もう物心ともに支えてきた地域のクラブではなくなったなど寂しさを感じますが NOVA さんと共にがんばってください。
- 前回、下記質問に対する答えがあまりにも準備されておらず落胆しました。クラブにフットボールフィロソフィはありますか？ないなら正直にないと答えてほしいです。  
すぐにでも策定すべきです。今がとても大事な時です。  
クラブの哲学がなければ監督が変わる度に哲学も変わるようでは将来に向けての投資もできないはずです。  
アカデミーもトップチーム監督が変わるたびにスタイルが変わるのですか？セレクションも無意味になります。  
監督が変わっても哲学に基づき獲得した選手やプレイスタイルは継続していく必要があると思います。  
ちなみに湘南の目指しているスタイルは分かりやすいですね。  
そのうえで、クラブとしてどのようなフットボールを目指していくのですか？  
今シーズン何をやるかの話ではないです。  
前に向かうフットボールなのか 失点を減らすフットボールなのか それすら示されてないです。  
その時々監督任せでは将来行き詰まるのではないのでしょうか。

まず、トップチームのフィロソフィーの観点で多数ご質問を頂きました。ありがとうございます。ご質問が繋がるとお思いますので、失礼ながらまとめて回答いたします。

まずクラブの根本として、「一岩」というクラブスローガンに掲げている言葉があり、スポーツの領域を超え世代と地域を繋ぎ、盛岡・岩手に携わるすべての人々の生活に息づいたプロサッカークラブになることを目指しております。それを実現し、夢と感動と興奮を皆様と共に分かち合うために、ピッチ外の活動もさるこ



とながら、オンザピッチでは今季も一岩となって最後まで諦めずに闘います。そのうえで重要な指標を昨季はあげさせていただきました。これらを体現もできる監督として秋田氏を招聘いたしました。目下、J3優勝・J2昇格を目標に掲げ、“TO WIN!”を標語に常勝軍団のアイデンティティも持つ監督を中心に、ピッチ内外の意識面からチームを構築しております。

来週からは高知での3次キャンプがスタートします。現在、シーズンを通して戦い抜く体をつくるために、選手たちは厳しいトレーニングに励んでおります。まずは開幕戦勝利に向けて、今季も熱いご声援を宜しくお願いいたします。

- ・ 今シーズンより「U-21 選手出場奨励ルール」が導入され、条件をクリアすると奨励金 200 万円が出るが、クラブとして（当然、選手自身の力量が絡むが）そこは狙っていくのか。

大垣勇樹、清水敦貴の2名が該当選手となっております。

条件を満たすためには、年間 3,240 分以上の出場、つまり常にどちらか一人がピッチに立ち続けなければなりません。若手の育成に力を注ぎたいとは考えておりますし、ぜひ本人たちには頑張ってもらいたいですが、無理をしてまで狙うつもりはございません。

- ・ J2 昇格を目指す上でプロ契約の選手が増えていくと思う。参考までに今シーズンのプロ A 契約選手、アマチュア契約選手の人数が知りたい。（できれば B 契約、C 契約も）
- ・ Jリーグでは一般的でないが、選手との契約年数を発表することはできないか。
- ・ （上記質問の根本として）谷口海斗選手の移籍に移籍金は発生したのか。

基本的にすべての選手とプロ契約を結んでおります。誠に申し訳ございませんが、その他の開示は控えさせていただきます。

（宮野）

補足まで、選手は活躍すると、複数年契約を拒み、単年契約に落ち着くことがまずまずあります。（苦笑）

- ・ 要望になるのですが、地元出身の選手を見たい。林君や谷村君や居なくなり寂しい。学生の頃から応援してた子らが居ると応援に熱が入る。地元の子供達の励みにも。

（田中）

アカデミー育ちで、ホームグロウン制度の適用選手が新高校3年生、新大学4年生にもおります。また、選手権で活躍を見せてくれた専大北上高校にも非常に質の高い選手がいました。

そういった地元出身の選手にも注目してスカウト活動に励んでまいります。

- ・ 菊池 GM に関して、昨季は最下位という結果であったが、ケガ人続出し、それに伴う3バックから4バックへの苦渋の変更、サイドハーフやウィングが本職の選手をウィングバックやサイドバックにしたりと本当に大変な状況の中で最後まで指揮した菊池 GM に感謝しています。今季は GM としてクラブに残留しますが、個人的に S 級ライセンスを保持されている方が二人いらっしゃるのにはクラブにとって大きいと思います。（あって欲しくありませんが）成績不振で監督を解任せざるを得ない状況でピンチヒ





ッターとして緊急起用できるのはある意味でいい保険かと思います。

秋田監督自身は初の J3 でもありますので、3 年間、いわてグルージャ盛岡の指揮を執っていただいた菊池 GM の経験を活かして、秋田監督を支えていただきたいと思いますと考えております。

- NOVA とのパートナーシップにより、「J リーグ入会后」最大級の補強を行っています。また（記憶の限りですが）、初めてブラジル人選手を 4 人獲得されています。彼らを獲得するためのコネクションはどのように得られたのでしょうか。

昨季の選手も半数以上の選手に代理人がついておりました。そういった今までのつながりに加え、諸外国にパイプをもつ方々に、ご相談させていただきながら進めてまいりました。

- サイドの選手の少なさが気になります。右 SB/WB は有永、原山、宮市で、SH はヴァンデルソン、嫁坂。左 SH は色摩、佐々木、大垣になると予想されるが、左 WB と SB は中村のみです。昨季のように DF が不足してシステム変更とか、適正のない選手を無理やり起用して裏目に出て負けるといったアクシデントに見舞われる恐れを感じます。この懸念について、クラブの考えを教えてください。

SB、SH の適正を持っている選手は多いので、戦術やコンディション、相手の特徴に合わせて様々な組み合わせがあると考えております。ぜひ開幕を楽しみにお待ちしております。

- 秋田監督は就任時に、昨季のグルージャの弱点として「フィジカルとスタミナ不足」を指摘されてたかと思います。今季のキャンプではこれを解消するためのトレーニングを実施されてますでしょうか。

キャンプ前の盛岡での体育館練習も含めて、2 部練習も多く取り入れハードなトレーニングを積んでおります。

- 麦倉選手が関東 1 部リーグの東京ユナイテッド FC への移籍が決定されました。昨季 2 ゴール 7 アシストの活躍した同選手が、なぜか JFA の移籍リストに掲載され、J リーグのトライアウトに参加していません。本人の希望は他の J クラブへの移籍をするためにこのような行動をしたのでしょうか。クラブに残留する意思がなかったと解釈してもよろしいでしょうか。

リリースが遅くなり、皆様にご心配をお掛けしまして申し訳ございません。

1 月末に契約満了、2 月半ばに東京ユナイテッド FC に移籍のリリースを出しました。他の選手と同時期にリリースすることも考えられましたが、本人の意向も尊重したうえで今回の運びとなりましたので、ご理解を賜れますと幸いです。

- 昨季加入したガオ テンイウ選手ですが、クラブ HP のプロフィールに掲載されていません。クラブから退団のリリース等発表されていませんが、一体どういうことでしょうか。



リリースが遅くなり、皆様にご心配をお掛けしまして申し訳ございません。

ガオ選手の去就はまだ決まっておりません。ご本人、代理人の意向を尊重しておりますので、今後あらためてリリースさせていただきます。

- ・ ガオテンイウ選手とファンシンボン選手が今後中国代表に招集され、試合に出場することがあれば逐次クラブ公式 SNS で報告してほしい。

皆様にいち早く情報を提供できるように精進してまいります。

- ・ 清水敦貴選手ですが、最低でもあと3年間はクラブに残ってほしい。すぐ出られないのなら下位リーグへ期限つき移籍させてでも経験を積ませてほしい。今季ダメだから来季は契約してポイするようなことはないよう、よろしくをお願いします。

アカデミー育ちの選手として後輩に、子どもたちに夢を与える選手になってほしいです。まだまだ物足りないですが、さまざまな経験を積ませて、大きく成長できるようにサポートをしていきます。

- ・ 新加入の原山海里選手、高校サッカー選手権で魅せたロングスローが武器で貴重な SB ということで推しメンの一人です。高校時代と現在のロングスローの質や飛距離に変化しているのでしょうか。

原山選手のロングスローは相手に脅威を与える武器なので、会場にお越しいただき、ぜひその目で確かめていただければと存じます。

- ・ 2019シーズントップチーム成績についてシーズン終了後、クラブ側からのシーズン総括をお聞きしていなかったと認識しています。2020シーズンはリーグ戦勝ち点50、一桁順位を目標に掲げながら、J3参戦後過去最低の成績に終わりました。このことについての評価と、結果に至った原因についてどのように考察されているかをお聞かせ下さい。

シーズンを通して皆様に多くの勝利を届けられず申し訳ございませんでした。

選手たちはよく戦ってくれましたが、シーズンを、また1試合を通したマネジメントができなかった苦しい1年だったと感じております。

一昨年の反省点として、けが人の続出、序盤戦は特にベストメンバーを組まず、スタートダッシュをかけられなかったことをあげておりました。

その反省を活かし、昨季は開幕戦に合わせてしっかりと調整し、序盤戦は想定内の戦績をあげられたのではないかと思います。

後半戦で勝利をあげられなかった要因として、雷雨による代替試合の影響による中断期間と、開幕前の期間にフィジカルコンディションを高められなかったことがあげられます。後半戦も1試合を通して、前半の出来は決して卑下するような内容ばかりではなかったと考えております。

昨季の反省を活かし、J3優勝に向けてキャンプに取り組んでおります。

- ・ 2020シーズントップチーム目標について。2020シーズンのトップチームの目標は、「J3リー



グ優勝」ということでよろしいでしょうか。

J3 リーグ優勝、J2 昇格を目標に闘ってまいります。

- ・ 昨シーズンまでは殆どの J 3 リーグのアウェイ戦において、控え選手を 5 名までしか連れて行けず、キックオフ前からハンディを背負っていたと感じていました。2020 シーズンは、アウェイ戦でも控え選手を上限の 7 名連れて行けるのでしょうか。

勝利のためにベストを尽くしてまいります。

- ・ ドルトムントとの提携を通じて、グルージャスタイル（サッカー哲学）をブラッシュアップし再定義し、チーム作りの根幹として欲しい。

前述のクラブとしての考え方をベースに、秋田監督が掲げる「TO WIN」を根幹に、勝つために何をすべきか考え、どんな環境でも勝利のために闘う集団を目指していきます。

続きまして、ここからアカデミーに移らせて頂きます。

#### アカデミー関連

- ・ 今年のジュニア→ジュニアユース、ジュニアユース→ユースへの昇格内定状況はどのようになっているか。具合的な人数、または割合でもいいので教えてほしい。

現時点の内部昇格に関して、ジュニアからは 7 名、ジュニアユースからは 2 名の内諾をいただいております。

- ・ これまで岩手の優秀なジュニアユース選手は、他県のユースや高校へ進学してしまうケースが多く、岩手県におけるユース年代の環境は決してよいものではありませんでした。
- ・ グルージャは今回ドルトムントスクールと連携することにより、指導者のレベルが高まることが期待されます。グルージャの下部組織が県内 1、あるいは東北 1 の組織になることを期待しているのですが、強化に向けて環境の整備、学校との提携、スカウト活動など、これまでと違う活動をされているのでしょうか。将来的にはプレミアリーグで青森山田を超えてほしいと思っています。期待しています。

今季より育成部長「中村学」、アカデミーダイレクター「金成勇」、新たな役職としてヘッドオブコーチング「本間圭」が就任いたしました。

さまざまな経験をもつ 3 者の視点を軸にスタッフ陣の育成を図り、トップチームも含めて意志の共有を徹底することで、一貫指導のメリットを最大限に活かしていきたいと考えております。

また、県内のスカウト活動を継続しつつ、外部とのネットワークを活かした取り組みも行っていきます。

- ・ 県内に複数のアカデミーチームを設立する予定はないか。他 J クラブでは県内に複数のアカデミーチー



ムを持っているクラブも多い。岩手県は面積が広大であるため盛岡以外の地域にもチームを保有してもいいと思う。

- また、岩手県内各地域ではサッカーをやりたくても「やる環境がない」がないため、サッカーを続ける事を諦めている子供も多いと聞く。例えば久慈市内の中学のサッカー部は久慈中学校と長内中学校にしかないようだ。
- 市内の他の中学校や久慈市近郊町村の子供たちはサッカーを続ける環境がないため、中学に上がるタイミングでサッカーを辞めてしまうと考えられる。
- こういった子供たちにサッカーを続けてもらうためにもアカデミーチームを盛岡以外の地域にも設立してみてもどうか。

将来的にJリーグクラブとして担っていきたい責務であると考えております。

しかし大きな変化があるなかで、まずはいわてグルージャ盛岡アカデミーとして現体制の基盤を整えていきたいと思っております。

今季も継続して、コーチングスタッフの派遣指導やトップチーム選手とのサッカー教室等イベントのなかで、各地域の子どもたちとの交流を図りたいと思っております。

- これはサポカンがあるたびに質問していることなのですが、アカデミー強化はどういった状況でしょうか？
- 長年 U-18 の監督を勤めた井出さんが U-18 から U-15 監督になった配置転換の経緯(自分は U-18 で結果を残していましたが継続して任せても良かったと思います)。今後の U-18 を含めた U-15 や U-12 の強化方針。
- 昨年選手権で専大北上の試合を見ましたが岩手らしくないサッカーをやっていました。本来ならグルージャの U-18 がああいう岩手を変えるスタイルを見せなければいけないですし、そろそろ強化して4年目に入りますので結果がほしいです(Jユースカップの結果を見ても強くなっているのは解ります)。
- 現高校1年、2年世代は人数が少ないようですが、新1年世代は内部昇格や外部からの加入などで人数を集められているのか？

U-18 で結果を残している井出監督に U-15 監督を任せることで、昨季に昇格したみちのくリーグへの定着、ジュニアユース年代の底上げを目指していきたいと考えております。

前述の取組みを行いながら、各カテゴリー、各選手とのコミュニケーションを図ってまいります。

内部昇格2名、外部から6名の内諾をいただいております。

保留選手も含めて、情報収集やスカウト活動は継続して行っています。

- ボルシア・ドルトムントとのパートナーシップ協定について「育成」に限った協定のようなのですが、今後、ゴメス・グスタボコーチのようなトップチームのコーチングスタッフ若しくはフロントスタッフの加入や、トップチーム選手獲得のためのドルトムントのネットワーク活用等の予定は無いのでしょうか。また2020年7月から3年間の契約のようですが、3年後には今回加入したスタッフは去る予定なのでしょうか。3年間で得るであろう育成ノウハウをその後どのように保持していくか、現在のお考



えをお聞かせ下さい。

現時点では、まず基盤を整理しておりますので、今後に向けて受け入れ態勢含めて準備していきたいと思  
います。

今年1年間を通して様々な面でアドバイスをいただき、試行と検証を繰り返し、取捨選択を行い、いわて独  
自のノウハウに昇華させていくことが重要だと考えております。

- ボルシアドルトムントとのパートナーシップ提携についてクラブのフィロソフィが示されていない中、  
アカデミーはドルトムントのメソッドを導入していく事が決まりました。トップチームに昇格させてい  
く為の目的であれば（クラブの求めるスタイルとドルトムントのスタイル）整合性はとれるのでし  
ょうか

Jクラブのアカデミーとしてトップチーム昇格が最終目標となるので、監督が求める要素を身に付ける必  
要はありますが、サッカースタイルの変化を強いられるものではありません。グルージャアカデミーは「人  
間性の充実」「基本の充実」その土台を大きくすることで、さらに育まれる「個のレベルアップ」を図る選手  
育成を目指しております。そのうえでドルトムントのメソッドを取り入れながら、より良い環境を子どもた  
ちに提供できるように精進してまいります。

以上、事前に頂きました質問に対する回答となります。

ここから、会場にてご質問・ご意見をざっくばらんに頂戴できればと思います。

- 是非、岩手の子どもたちに対してグルージャにあこがれを持ってほしいと常々思っています。4種の大  
会とグルージャの試合を絡める等して、そのままグルージャの試合が見られるようにアレンジいただけ  
ると良いのではないかと思います。

(宮野)

ご意見誠にありがとうございます。先日もいわぎんスタジアムで指定管理者や盛岡市等と年間利用の打合  
せをして参りました。また、以前在籍していた高橋が県サッカー協会のスタッフをしていたのですが、毎回  
このような件に関してアツク想いを伝えていました。結果、プリンスリーグ2試合の事前開催が実現され、  
盛岡ゼブラの試合も組まれる等、少しだけ変化を加えることができました。これがナイター開催に代われ  
ば世界が変わりますので、毎度「検討します」で恐れ入りますが、ここから勝負だと思います。

- 集客に関して、今そこまで手が回らないというお話がありましたが、今の現状をどう思っているか。こ  
れからJ2を目指す中で、展望があれば教えて欲しい。

(宮野)

観客の目標としては、過年度から変わらず、2,000人が目標になります。雪や雨等の荒天を除くと、1,780  
人のところまで伸びつつあります。ただ、荒天を避けることはできない、かつシティマラソンとの被りとい  
うのも発生しておりますので、こうしたものにも負けることなく観客に来て頂ける環境を整えなければなら  
ないと感じております。今、キッズゾーンの新設を進めておりますが、授乳室がない、冷暖房の部屋がな

い、医務室が足りない、更に新型コロナの影響で医療完備はより厳重に行わなければいけません。ボランティアスタッフの方々や、各業者さんの安全を確保しつつサポート頂く為にも、ある程度お金を投じるべきと感じております。話がそれてしまいましたが、こうした観点の具備を以てして、昨年と変わらぬ施策を打っていけば、観客の増加は図れるものと考えております。前日、富士ゼロックススーパーカップに行きましたが、リーグ主導での盤石なリスク対策には勉強させられました。そうした配慮を以てして初めて興行は成り立つので、しっかりと準備をしながら、お客様の迎え入れが出来ればと考えております。

- シーズンパスは今日販売しないでしょうか。

(宮野)

申し訳ございません。先程お伝えいたしました通り、シーパスやレプリカユニ等の販売は、まだできておりません。

- 字が見えないので、今回はプリントで欲しいです。

(宮野)

申し訳ございません。今回はプリント配布できるように準備いたします。

本日は長時間に亘り、誠にありがとうございました。

3月8日にアウェイでカマタマーレ讃岐との試合があり、藤枝戦を挟んで、3月22日、ホームゲーム ロアッソ熊本との試合がございます。J3に上がってまだ開幕戦の勝利をしたことがないので、今回のキャンプの成果として、開幕からしっかり勝てるよう取り組んで参ります。今シーズンもアツい応援の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## WALK ON TOGETHER

